

平成22年度 決算説明書／事務事業評価シート

部局名	消防本部
課室名	総務課

予算	款	項	目	決算書	
	9	1	2	196	頁

目 名
非常備消防費

事務事業名称
非常備消防運営事業

1. 概要

目的	各種災害現場において機能が十分発揮できるよう、消防団活動能力の充実強化を図る	対象	市民
	○消防団活動事業…災害活動能力の向上を図る。 1団、4方面団、7方面隊、36分団、52部で組織され、団員定数1,321人の運営管理と各種災害対応に、 確実・迅速な活動が出来るよう、団員の充実を図る。 【災害出動回数】…23回（建物火災8件、林野火災4件、車両火災6件、その他1件、捜索4件）		
事業概要	○資機材等管理事業…車両の維持管理や詰所等の修繕消防ポンプ自動車11台、小型動力ポンプ付積載車67台の維持管理と、 18年を基準に年次的な更新を図っている。		

臨/経	事業名	事業内容（主な経費等）		予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	消防団活動事業	報酬、出動手当、訓練負担金等	報酬	89,586	85,546			307	85,239	3
経常	資機材等管理事業	車両修繕、詰所等修繕等維持管理等	需用費	16,642	14,128			277	13,851	3
計				106,228	99,674	0	0	584	99,090	

2. 指標設定

成果指標	指標名	市民の安全安心の確保		目標年度	—				指標の設定理由				
	数値	—							市民の安全安心の確保が必要であるため				
活動指標	指標	a	災害出動数		b	訓練出動数		c			d		
	数値	目標	—		目標	—		目標			目標		

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
市民の安全安心の確保		—	—	—

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 災害出動数	回	27 回 — %	28 回 — %	23 回 — %
b 訓練出動数	回	12 回 — %	9 回 — %	14 回 — %
c				
d				

4. 課題と対応

課題
団員の高齢化やサラリーマン化等により団員確保がますます困難になってくる
対応（改善点等）
団員の技能、知識レベルを上げ地域防災力の向上を図る

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

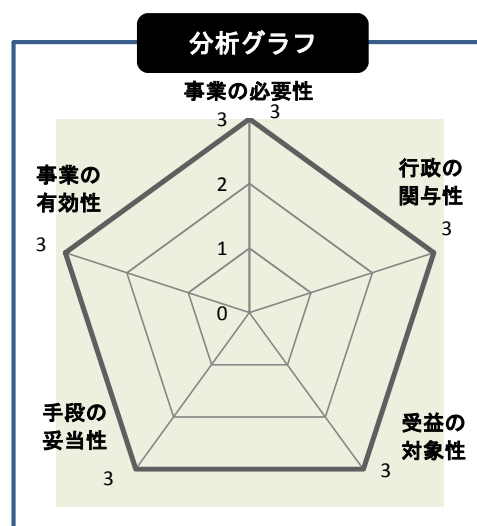
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
		107,546	177,033	99,674	99,114
うち経常経費		98,375	91,726	99,090	99,114
財源内訳	国費		84,500		
	県費	739	505		
	市債				
	その他	307	302	584	
	一般財源	106,500	91,726	99,090	99,114
うち経常		98,375	91,726	99,090	99,114
事業費に係る人件費		14,094	15,215	14,891	15,050

6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
災害時において、消防団の技能と知識のレベルアップを図り地域防災力の向上を継続的に図るため

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 市の責務である
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 市が担う事業
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 安全を確保し災害被害を軽減する
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 災害時の迅速な対応であり妥当である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 市民の生命財産を守る責務がある



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	経費の削減を図りつつ、団員を含め地域防災力の向上を図ること